

平成 21 年度事業計画

—学会の更なる活性化に向けて—

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで

はじめに

会員数及び賛助会員口数の減少に伴う厳しい財政事情の中、平成 20 年度は、学会設立 25 周年を契機とした学会活動の再活性化と経費削減に取り組んできた。本年も引き続き、学会の活力を取り戻し、会員の維持・拡充及び財政基盤の安定化を図ることを目標に取り組んで行きたい。

その観点から、平成 21 年度においては、学会大会、国際コミュニケーション・フォーラム、常設研究会及び昨年大幅に新設した特定研究会の活動を更に充実させるとともに、地方での研究会なども積極的に行い、また、会員の情報交換の場として設置した「情報通信ビジネス懇談会」を引き続き年 8 回開催するなど、学会活動の更なる活性化を目指す計画とした。事務経費においても一層の節減を行う。

1. 特定研究会を含めた研究会のあり方に関する抜本的な見直し

平成 20 年度においては、研究会活動の活性化を図るため、既存の 7 常設研究会に加え、8 特定研究会を新設し、活発な研究会活動が行われた。平成 21 年度は一部特定研究会を入れ替え、7 常設研究会、9 特定研究会で活動を行い、52 回の研究会の開催を予定している。

また、常設研究会を含めて研究会のあり方について抜本的な見直しを平成 21 年度内に行う。

- * 別紙 1 「平成 21 年度研究会一覧」
- * 別紙 2 「平成 21 年度事業開催スケジュール」

2. 「情報通信ビジネス懇談会」

平成 20 年 4 月に新設した「情報通信ビジネス懇談会」は 3 月までに 8 回開催され、賛助会員を始め幅広い会員に好評である。平成 21 年度も年 8 回の開催を予定している。情報通信ビジネスをめぐる情報交換の場として活用して行きたい。

- * 別紙 2 「平成 21 年度事業開催スケジュール」

3. 第 26 回学会大会及び総会

平成 21 年度の第 26 回学会大会及び総会は、桜美林大学を主催校として 2 日間開催する。

【開催日時】 平成 21 年 6 月 27 日（土）～28 日（日）

【会 場】 桜美林大学（町田市常磐町 3758）

【テ ー マ】 「IPTV が拓くポストインターネット社会」

【プログラム】 総会、基調講演、シンポジウム、個人研究発表、研究会報告、ポスターセッション

- * 新たにポスターセッションを設け、より多くの会員が発表の場を持てるよう考慮した。
- * 別紙 3 「学会大会プログラム」

4. 第 26 回国際コミュニケーション・フォーラム

平成 21 年度第 26 回国際コミュニケーション・フォーラムは、関西大学東京センターにおいて開催する。

【開催日時】 平成 21 年 11 月 13 日（金）

【開催場所】 関西大学東京センター（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー9 階）

【テーマ】 「ポストデジタル世代のモバイル・コミュニケーション（仮）」

* 別紙 4 「国際コミュニケーション・フォーラムプログラム（案）」

5. 学会誌の発行

学会誌を年 4 回（5 月、9 月、12 月、3 月）発行する。学会大会の個人研究発表者へ積極的に投稿を呼びかけ、掲載論文の質と量をとともに増強する。それに伴う査読の増加に対して、会員の協力を要請するとともに、査読者選定の迅速化に取り組んでいく。また、今後学会誌のデジタル化にも積極的に取り組んでいく。

6. ホームページの改善とメールマガジンの発行

(1) ホームページの改善

学会ホームページについて、会員にとっての利便性・有用性を高めるため、平成 21 年度は、更なる改善を図り、理事の紹介ページ、新刊著者のコメント、教員募集の紹介などを掲載し、会員にとって親しみが持て、有用な情報が得られるサイトを目指す。また、研究会情報を充実させるため、スピーディな周知と研究会開催後の報告の掲載に努める。英文サイトについても拡充を図る。

(2) メールマガジンの発行

会員向けにメールマガジンを週 1 回程度発行しているが、メールマガジンの内容がすぐにわかるようなタイトルに変更し、タイムリーな情報を随時発信していくこととする。会員のメールアドレスの登録を呼びかける。

7. 関西支部活動

(1) 支部大会

関西支部会員の研鑽と相互交流を図る目的で例年通り、支部大会を秋に開催する。関西支部大会は参加者も多く、好評であることから、平成 21 年度は更に充実を図る。

(2) 研究会の開催

情報文化研究会、マルチメディア研究会の常設研究会を支部主催で各 2 回開催する。

* 別紙 2 「平成 21 年度事業開催スケジュール」

8. 学会活動の地方への展開について

学会活動の首都圏及び関西圏以外の地域への展開を図る一環として、21 年度は、九州経済学会との連携により、同学会の大会（H21 年 11 月～12 月、九州国際大学）において情報通信学会の事業（ミニシンポジウム等）を開催するとともに、その他の地域においても、地元の学会員の企画による研究会等の開催を勧奨し、支援する。

9. 会費の値上げと終身会員制度の導入

平成 20 年度総会において了承されたとおり、正会員（一般）の会費の値上げ、及び終身会員制度の導入を平成 21 年 4 月より行う。

10. 公益法人制度改革への対応について

平成20年12月に公益法人制度改革関連の新3法が施行され、当学会も現在、特例民法法人となった。特例民法法人は5年以内に「公益社団・財団法人」、または「一般社団・財団法人」に移行することが求められている。当学会としても今後検討を進め、平成22年度には結論を出す。

別紙 1

平成 21 年度研究会一覧

(1) 常設研究会

| 研究会名 | 研究会主査 |
|--------------|----------------------|
| 情報通信法制・政策研究会 | 主査：小菅敏夫 幹事：清家秀哉・服部孝章 |
| 情報経済研究会 | 主査：浅井澄子 幹事：内山 隆 |
| 情報社会研究会 | 主査：中村広幸 幹事：井村 保 |
| 国際情報研究会 | 主査：時野谷浩 幹事：小川恒夫・小山圭太 |
| 情報文化研究会 | 主査：富田英典・田岡文夫 幹事：山西宏明 |
| マルチメディア研究会 | 主査：中野 潔・中野幸紀 幹事：島田泰子 |
| 情報行動研究会 | 主査：三上俊治 幹事：吉井博明・橋元良明 |

(2) 特定研究会

| 研究会名 | 研究会主査 |
|-------------------|----------------------|
| 情報通信文明史研究会 | 主査：押田榮一 幹事：中野幸紀・松田裕之 |
| モバイル・コミュニケーション研究会 | 主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之 |
| 情報化効果研究会 | 主査：三友仁志 幹事：実積寿也・近藤勝則 |
| メディアマネジメント研究会 | 主査：各務洋子 幹事：趙 鏞吉・山口一弥 |
| 情報知財研究会 | 主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉 |
| 放送の未来研究会 | 主査：山下東子 幹事：村瀬真文・篠原俊行 |
| 情報社会システム研究会 | 主査：清原聖子 幹事：上田昌史・李 洪千 |
| 間メディア社会研究会 | 主査：遠藤 薫 幹事：木村忠正 |
| メディア集中に関する研究会 | 主査：中村 清 幹事：豊嶋基暢・山田 肇 |

21 年度新設の特定研究会研究会

| 研究会名 | 研究会主旨 |
|--|---|
| 情報社会システム研究会 主査：清原聖子 幹事：上田昌史 李 洪千 | 平成 20 年度ソーシャル・イノベーション研究会における活動実績を踏まえ、新しい主査・幹事により、高度に発展した情報インフラや ICT を用いた選挙運動、市民メディア活動、医療、地域活性化など周辺領域に関する制度設計について、政治学、社会学、経済学など学際的な視点から幅広く検討していくことを目的とする。 |
| 間メディア社会研究会 主査：遠藤 薫 幹事：木村忠正 | 今日、インターネットの浸透は改めて言うまでもない。しかし、メディア状況は、インターネット単独ではなく、放送や新聞など既存メディアとの連携・融合によって、新たな段階へ移っていきと考えられる。このような、ネットとメディアの関係性によって形成される「情報社会」を「間メディア」とよび、その様相を多面的に検討することを目的とする。 |
| メディア集中に関する研究会 | デジタル技術の急速な進歩によって放送と通信の市場融合が生じ、新聞・テレビ・ラジオといった伝統的なメディアは大きな構造変化に直 |

面している。本研究会では、民主主義の基礎となるメディアとその集中に焦点を当て、日本のメディア市場にどのような構造的変化が生じつつあるのか、またアジアならびに欧米諸国との比較研究を通じて、メディアの多様性・多元性・地域性をどのようにして確保すべきか、さらにビジネスモデルがメディア集中にいかなる影響を与えるのかなどについて実証的・論理的な検討を加える。コロンビア大学のエリー・ノーム教授を中心として展開されている国際的な研究グループと連携し、地球規模でのメディア集中とそれに関連する経済的・社会的・政治的な課題について検討する。

別紙 2

平成 21 年度事業開催スケジュール

(3月16日更新)

| 日 | 曜 | 開催事業名 | テーマ | 発表者 | 会場 |
|---------------|-------------|---------------|--|------------------------------|------------------|
| 4月 | | | | | |
| 20 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | ITと環境経営 | 朽網道徳（富士通株式会社） | マルチメディア振興センター |
| 24 | 金 | メディア集中に関する研究会 | 日本のメディア集中について | 浅利光昭（メディア開発綜研 主任研究員） | 東洋大学大手町校 |
| 5月 | | | | | |
| 18 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | 「金融分野におけるITの現状と今後」 | 山田英司（㈱NTTデータ） | マルチメディア振興センター |
| 18 | 月 | 情報社会システム研究会 | 「政治マーケティングにおける参加型双方向メディアの積極利用と選挙広告の変化：アメリカの最新事例の研究」「インターネット利用の社会的帰結：異質な情報・他者への接触と社会的寛容性への効果を中心に」 | 前嶋和弘（文教大学） 小林哲郎（国立情報学研究所） | マルチメディア振興センター |
| 22 | 金 | 情報通信文明史研究会 | 「電信電話とジェンダー」 ・ITの夜明けとパイオニア・ウーマン ～ his-story から her-story へ～ ・近代日独の情報通信とジェンダー | 松田裕之（甲子園大学） 石井香江（四天王寺大学） | 関西学院大学 大阪梅田キャンパス |
| 29 | 金 | メディア集中に関する研究会 | 「日本のメディア集中について」（情報通信学会における研究会のための事前検討会） | 山田 肇（東洋大学教授） | 東洋大学大手町校（ |
| 6月 | | | | | |
| 27 ～ 28 | 土 ～ 日 | 学会大会 | 「IPTVが拓くポストインターネット社会」 総会、基調講演 パネル・ディスカッション 個人研究発表 研究会報告、ポスターセッション | （詳しくは学会大会案内を参照ください） | 桜美林大学 |
| 28 | 日 | 情報経済研究会 | 伝統的な世界の映像コンテンツ政策 －今後のコンテンツ・レイヤー | 菅谷 実（慶應義塾大学） 中村 清（早稲田 | 桜美林大学 |

| | | | | | |
|----|---|-------------------|----------------------------------|--|-------|
| | | | への政策的応用を求めてー | 大学) 内山 隆 (青山学院大学) 湧口清隆 (相模女子大学) 小泉真理子 (京都精華大学) | |
| 28 | 日 | 放送の未来研究会 | プラットフォーム事業に係る課題と考察 | 箴島 専 (早稲田大学) | 桜美林大学 |
| 28 | 日 | モバイル・コミュニケーション研究会 | モバイルメディアと AR 技術とのコラボレーションの動向について | 富田英典 (関西大学) 松下慶太 (実践女子大学) | 桜美林大学 |
| 28 | 日 | 間メディア社会研究会 | 間メディア社会における<ジャーナリズム> | 藤代裕之 (ジャーナリスト/ブロガー) 遠藤 薫 (学習院大学) | 桜美林大学 |
| 28 | 日 | 情報通信文明史研究会 | 本邦情報通信の原点 「志田林三郎の学会設立演説を読み解く」 | 押田榮一 (関西学院大学) 松田裕之 (甲子園大学) 中野幸紀 (関西学院大学) 中野 明 (ノンフィクションライター) | 桜美林大学 |
| 28 | 日 | メディア集中に関する研究会 | 日本におけるメディア集中：集中度計測の中間報告ならびにその問題点 | 林紘一郎 (情報セキュリティ大学院大学) 山田 肇 (東洋大学) 中村 清 (早稲田大学) 豊嶋基暢 (慶應義塾大学) 市川芳治 (慶應義塾大学) 城所岩生 (成蹊大学) | 桜美林大学 |

| | | | | | |
|-----|---|-------------------|--|----------------------------------|---------------|
| | | | | 浅利光昭（メディア開発綜研） | |
| 7月 | | | | | |
| 13 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | （関西で開催を予定） |
| 10 | 金 | メディア集中に関する研究会 | 独占禁止法とメディア事業法について | 未定 | 東洋大学大手町校（予定） |
| 未 | 定 | 情報社会システム研究会 | 「韓国の市民メディア活動（仮）」 | 玄武岩（北海道大学） | マルチメディア振興センター |
| 8月 | | | | | |
| 28 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中の現状と問題点：アジア | 未定 | 東洋大学大手町校（予定） |
| 9月 | | | | | |
| 10 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中の現状と問題点：オセアニア | 未定 | 東洋大学大手町校（予定） |
| 14 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | マルチメディア振興センター |
| 未 | 定 | 放送の未来研究会 | NHKを取り巻く課題について | 未定（NHK関係者） | 未定 |
| 未 | 定 | モバイル・コミュニケーション研究会 | 未定 | 未定 | 関西大学心齋橋オフィス |
| 10月 | | | | | |
| 19 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | マルチメディア振興センター |
| 23 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中の現状と問題点：米国 | 未定 | 東洋大学大手町校（予定） |
| 未 | 定 | 情報社会システム研究会 | 「医療情報のネットワーク化（仮）」 | 検討中 | マルチメディア振興センター |
| 11月 | | | | | |
| 13 | 金 | 国際コミュニケーション・フォーラム | 「ポストデジタル世代のモバイル・コミュニケーション」 基調講演 パネル・ディスカッション | （詳しくは国際コミュニケーション・フォーラム案内を参照ください） | 関西大学東京センター |
| 20 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中の現状と問題点：欧州 | 未定 | 東洋大学大手町校（予定） |
| 未 | 定 | 情報通信文明史研究会 | 「情報と通信の比較文明学」 | 藤本憲一 杉田繁一 | 未定 |
| 未 | 定 | モバイル・コミュニケーション研究会 | 未定 | 未定 | 関西大学東京センター |

| | | | | | |
|-----|---|-------------------|---|------------------------------|------------------|
| | | 研究会 | | | |
| 未 | 定 | 間メディア社会 研究会 | 間メディア社会の国際比較 | 未定 | 未定 |
| 12月 | | | | | |
| 14 | 月 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | マルチメディア振興センター |
| 18 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディアの多様性・多元性・地域性とその国際比較 | 未定 | 東洋大学大手町校 (予定) |
| 未 | 定 | 情報経済研究会 | 未定 | 未定 | |
| 1月 | | | | | |
| 15 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中と競争政策について | 未定 | 東洋大学大手町校 (予定) |
| 未 | 定 | 情報通信文明史研究会 | 「電気通信の言葉」 「鴎外と情報の関わり」 または、「印刷の歴史」 | 小野厚夫 新井菜穂子 築瀬重 中西秀彦 | 未定 |
| 2月 | | | | | |
| 19 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディアとデジタル・デバイドについて | 未定 | 東洋大学大手町校 (予定) |
| 未 | 定 | 放送の未来研究会 | 新情報通信法制における放送の位置づけについて | 未定（総務省関係者） | 未定 |
| 未 | 定 | モバイル・コミュニケーション研究会 | 未定 | 未定 | 関西大学心齋橋オフィス |
| 未 | 定 | 情報社会システム研究会 | 「地域情報化と SNS（仮）」 | 峰滝和典（関西大学） | マルチメディア振興センター |
| 未 | 定 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | マルチメディア振興センター |
| 未 | 定 | 間メディア社会研究会 | 「間メディア社会の今後」 | 未定 | 未定 |
| 3月 | | | | | |
| 12 | 金 | メディア集中に関する研究会 | メディア集中とビジネスモデルの影響 | 未定 | 東洋大学大手町校 (予定) |
| 未 | 定 | 情報通信ビジネス懇談会 | 未定 | 未定 | マルチメディア振興センター |

* 上記スケジュールは3月現在開催が決まっているものです。今後開催予定が決まったものから順次掲載していきます。

* また、スケジュールおよび内容は、変更される場合があります。

* 変更内容はそのつど、更新し、ホームページ等でご案内いたします。

別紙3

第26回学会大会 プログラム

【開催日時】平成21年6月27日（土）・6月28日（日）

【開催場所】桜美林大学（町田市常磐町3758）

【テーマ】「IPTVが拓くポストインターネット社会」

【助成金の申請】情報通信月間、桜美林大学

【プログラム】

1日目

11:00～12:00 アーリーバード（個人研究発表・大学院生セッション）

13:00～14:00 第26回総会

14:10～15:10 基調講演 村井 純（慶應義塾大学環境情報学部教授）

15:20～15:30 招聘校あいさつ 宮下幸一（桜美林大学副学長）

15:30～17:30 パネルディスカッション

パネリスト：（五十音順）

伊藤康之（株式会社NTTふらら映像サービス企画部部長）

清水久裕（株式会社アクトビラ代表取締役副社長）

杉本 誠司（株式会社ニワンゴ代表取締役）ニコニコ動画

鈴木祐司（NHK放送文化研究所）

本間祐次（東京工業大学総合研究院ソリューション研究機構イノベーション研究センター特任教授）

コーディネーター

田村和人（日本テレビ放送網株式会社編成局デジタルコンテンツセンター長）

17:30～17:35 閉会あいさつ（実行委員長塩谷さやか）

18:10～20:00 懇親会

2日目

10:30～16:15 個人研究発表（一般セッション）

11:00～15:45 研究会報告

11:00～14:00 ポスターセッション

【実行委員】

実行委員長：塩谷さやか

実行委員：上原伸元、片山博文、金美林、田村和人、豊嶋基暢、林幹人、湧口清隆

別紙4

第26回国際コミュニケーション・フォーラム プログラム (案)

【開催日時】 平成21年11月13日(金)

【開催場所】 関西大学東京センター (東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9階)

【テーマ】 「ポストデジタル世代のモバイル・コミュニケーション」

【プログラム】

13:00～13:10 会長あいさつ

13:10～13:55 基調講演Ⅰ

14:05～14:50 基調講演Ⅱ

15:00～15:45 基調講演Ⅲ

16:00～17:30 パネル・ディスカッション

17:30～17:40 閉会あいさつ(実行委員長)

【実行委員】

実行委員長：山下東子

実行委員：江下雅之、各務洋子、梶浦敏範、田中征治、富田英典